

新春を迎えて



(一社) 松江市交通安全協会  
会長 三島 進

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、穏やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、会員の皆様や地域の皆様方による日々の地道な活動により、お蔭さまで交通事故の総量を減少させることができました。心より感謝申し上げます。

交通事故が平穏な日常生活を一瞬にして打ち砕くことは言を俟たないところであり、当協会といたしましては本年もこのような交通惨禍を限りなくゼロに抑え込むよう取り組む所存であります。

とりわけ、本県は交通事故死者全体に占める高齢者の割合が著しく高い状況が続いていることから、「高齢者の交通事故防止」を最重要課題に据え、中でも

◎ 安全な道路横断 と ◎ 夜光反射材の着用  
の2点について、高齢者自身が自らの問題としてとらえこれを確実に実践して頂きたく、きめ細かな活動を展開して参りたいと考えております。

引き続き、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとりまして交通事故のない明るく良い年でありますように、そして、「ご家族皆様のご健康・ご多幸を祈念申し上げます、新年の挨拶と致します。

今年も一年  
安全運転に  
努めましょう

## 松江市交通安全協会

# 会報

第45回

発行所 一般社団法人 松江市交通安全協会

松江市袖師町 5-10 (松江警察署内)  
TEL24-8782 (FAX 兼用)

ホームページ  
松江市安協 検索

2016.1  
Vol.61

## 松江市交通安全 総決起大会の開催

11月13日、松江市千鳥町 松江市総合福祉センターにおいて、松江市交通安全総決起大会が参加者約250名の中、盛大に開催されました。

県警音楽隊の演奏によるアトラクションで幕開けし、交通事故犠牲者の冥福を祈って黙祷が行われた後、大会長(松江市長)、大会副会長(松江警察署長)の挨拶に続き、来賓を代表して松江市議会議長の祝辞がありました。

続く表彰式では、交通安全に功労のあった団体と個人に対して

- 大会長感謝状 (1団体8名)
- 松江警察署長・(一社)松江市交通安全協会長連名感謝状 (2団体6名)
- (一社)松江市交通安全協会長・松江警察署長連名表彰 (2団体10名)

そして、

- 無事故・無違反推進月間施策優良地区表彰 (10地区)
- 10年無事故・無違反優良運転者表彰 (102名)

が、それぞれ行われました。

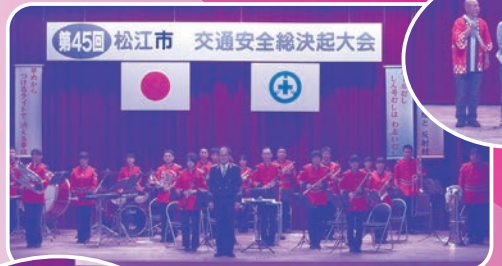
続いて、「島根県住みます芸人」による交通安全トークショーが大爆笑の渦の中で行われ、最後に、松江市白鳥クラブ連合会 会長 永瀬 理恵 氏により大会宣言(案)が朗読・提案され、参加者全員の拍手で採択されて大会は幕を閉じました。



大会長感謝状



大会長 (松江市長) あいさつ



県警音楽隊



島根県住みます芸人



お楽しみ抽選会



内閣総理大臣賞 こんばんは 早めのライトで ごあいさつ





# 交通事故抑止

## 「じ・じ・み運動」の推進について



松江警察署  
交通第二課長 山崎 徹

交通安全協会会員の皆様方には、平素から交通安全対策はもとより、警察行政各般にわたり、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の松江警察署管内の交通事故発生状況ですが、発生件数・負傷者数とも前年に比べ減少していますが、交通事故死者数は八人と前年に比べ一人増加という厳しい情勢でありました。

交通事故の特徴としては、従来の「夜間・国道・高齢者」に加え、「横断中」という特徴が見受けられました。

今年、「第十次島根県交通安全計画」の初年度であり、「平成三十二年までに県内交通事故死者数十八人以下」とする目標に向けて取組んでいかなければなりません。松江警察署としては、交通事故情勢を踏まえ、昨年に引き続き、

○歩行者に対しては、しっかりと「じ・じ・み」

みて横断

○運転者に対しては、しっかりと「じ・じ・み」

みて運転

の頭文字をとった「じ・じ・み運動」をキャッチフレーズとし、関係機関・団体と協働して交通事故防止対策を積極的に推進していきます。

「じ・じ・み」は、松江市民にとって大変親しみやすい言葉であり、この「じ・じ・み運動」を子供からお年寄りまで幅広く周知して、交通事故ゼロのまち「まっえ」の実現を目指していきたいと考えております。

○当面の重点対策としては

○夕暮れ・夜間、国道等の幹線道路における

交通街頭活動の強化

○夜光反射材着用の推進

○中学・高校生の自転車マナーアップの推進

について取り組んでいきますが、これらの交通安全対策については、当然、警察のみの活動では限界があります。安全協会会員をはじめ、関係機関・団体の皆様方と連携を密にして、地域に根ざした継続的な活動として取組んでいく所存でありますので、今後ともご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



# 賞誉に輝く

平成28年1月15日、東京都の日比谷公会堂で開催された「第56回交通安全国民運動中央大会」の席上で、次の個人・団体が表彰されました。おめでとうございます。

警察庁長官・全日本交通安全協会会長連名表彰  
交通栄誉賞 緑十字銀章表彰  
交通安全功労者

松江市交通安全協会  
前城西地区会長 武藤 正實



全日本交通安全協会会長表彰  
優良団体

松江市乃木地区交通安全協会  
会長 玉川 啓夫



## 高齢者の主張松江地区大会



9月17日（木）松江警察署において、松江市内各地区から推薦された4名の代表者による交通安全高齢者の主張 松江地区大会が開催され、出場者は、それぞれ自らの貴重な体験等に基づいた意見発表を行いました。

大会は、松江地区安全運転管理者協会 石倉 哲副会長他4名の審査員による厳正な審査の結果、『私の宝もの』と題し、「運転免許取得時の苦労や、自動車を運転することで得た喜びやありがたさ」を心情豊かに訴えられた木村 百合子さん（大野地区）が最優秀賞に選ばれ、松江地区代表として島根県大会に出場されました。



木村 百合子さん

出場された選手の皆さん、ありがとうございました。

木村さんは、10月27日（火）松江市総合福祉センターで開催された県内各地区から選抜された代表者7名による島根県大会で、「警察本部長賞」を受賞されました。おめでとうございます。



選手宣誓（八束学園の選手）



実技

10月24日（土）東出雲体育館において「第48回交通安全子供自転車松江大会」が開催されました。この大会には、市内の小中学校から、団体6チーム24名、個人9名の児童が参加し、学科と実技競技にチャレンジしました。

## 交通安全子供自転車松江大会



竹矢小学校

### 大会結果

優勝 竹矢小学校  
準優勝 大庭小学校  
第3位 秋鹿小学校



大庭小学校

この結果、松江市代表として、上位2チームの竹矢小学校と大庭小学校が、来る平成28年7月7日（木）に開催される島根県大会に、松江市代表として出場することが決まりました。

島根県大会の優勝チームは、全国大会（東京）に出場することになりますが、松江市代表チームは過去6年連続全国大会出場を果たしており、本県の交通安全子供自転車界をリードしています。両チームには、全国大会出場を目指して、是非頑張ってください。



## 交通安全しじみ運動 城山関所の実施



当協会では、松江市及び松江警察署と共催し、秋の全国交通安全運動における活動の一環として、松江城天守の国宝指定と交通安全啓発のため鋭意実施中の「(C)C(2)運動」に因み、松江城大手門付近で「交通安全しじみ運動 城山関所」と銘打ったイベントを行いました。

関所では、築城にあたった初代城主 堀尾 吉晴 公や武者、町娘などに扮した者が、松江城を訪れる観光客に対して、旅行中の無事故を願って交通安全を呼び掛けました。

訪れる観光客から「記念写真を一緒に」との要望が多数あり、好評を博しました。

## 交通安全シルバー自転車大会



10月14日(水)松江市総合体育館において、島根県内各地区から14チームの参加を得て、「第11回シルバー自転車大会」が開催されました。この自転車大会は、65歳以上の3名(男女の比率を問わない)でチーム編成し、安全走行を競うものです。

松江地区からは「竹矢チーム」が出場し、交通安全子供自転車大会で毎年活躍している地元「竹矢小学校」の子ども達に負けじと頑張って頂きました。結果は惜しくも上位入賞を逃しましたが、出場した皆さんには一生懸命頑張って頂きました。

## シルバー交通安全フェスティバル

10月30日(金)松江市浜乃木「乃木公民館」において、乃木・雑賀・大庭・古志原の各地区交通安全協会や乃木地区高齢者クラブ連合会などから約50人の参加を得て、「シルバー交通安全フェスティバル」が開催されました。

このフェスティバルは、本年度、乃木地区が、地域ぐるみで高齢者を交通事故から守る取組みを行う「はつらつモデル地区」に指定されていることや「高齢者の交通事故防止運動」の一環として行われ、特に夜間、道路横断中の高齢者被害の交通死亡事故が多発していることから、参加者は、夜間の視認性、夜光反射材の効果などを実験・体験方式で学びました。研修は、松江警察署交通第一課 森巡查部長による巧みな腹話術と交通安全手品で盛り上がり、研修後は参加者全員が反射タスキを着用して乃木地区内をパレードし、付近住民や通行人に夜光反射材の着用を呼び掛けました。



平成28年使用  
交通安全年間  
スローガン決定

運転者(同乗者を含む)  
へ呼びかけるもの

内閣総理大臣賞

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

内閣府特命担当大臣賞

その酒で 失う信頼 家族の未来

警察庁長官賞

もしもしは しません出ません 運転中

歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

内閣総理大臣賞

シニアこそ ジュニアのお手本 交通安全

内閣府特命担当大臣賞

スマホ見ず しっかり前見て 踏むペダル

警察庁長官賞

伝えよう 自分の存在 反射材

子ども(中学生以下)へ呼びかけるもの

内閣総理大臣賞

しんごうが あおでもよくみる みぎひだり

内閣府特命担当大臣賞

気を付けよう 知らない道より 慣れた道

警察庁長官賞

わたろうが いそぐ気持ちに プレーキを

文部科学大臣賞

ぼくは ここ ピカッと知らせる はんしゃざい

## 「飲酒運転根絶作戦」実施中

～飲んだら乗らない 乗るなら飲まない 乗るなら飲ませない～

12月1日から1月31日までの2ヶ月間松江市から悲惨な結果を招く飲酒運転を一掃するため、当協会、松江市、松江地区安全運転管理者協会主催による「飲酒運転根絶作戦」を現在実施中です。

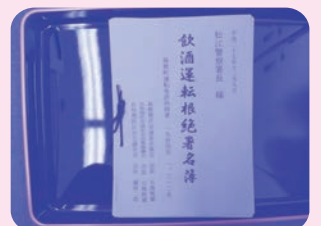
交通安全幟旗の作製と掲出

この運動に伴い、当協会では飲酒運転根絶のための啓発用幟旗を500枚作製し、各地区安全協会を通じて街頭に掲出しています。飲酒運転追放気運の一層の高まりに役立てればありがたいです。

飲酒運転署名簿の提出

また、島根町の「島根地区自治会連合会」「島根地区交通安全協会」「島根地区交通安全対策協議会」の3団体は、このほど運動の趣旨に賛同した島根町19自治会の1,312名による飲酒運転根絶署名簿を作成し、団体を代表して藤原 二郎 島根地区自治会連合会長と石橋 梶廣 島根地区交通安全協会会長が、12月9日、署名簿を新井松江警察署長に提出しました。

なお、飲酒運転根絶のための施策が優良であった地区に対して、来る定時総会の席上で表彰することとしています。



※ これらのスローガンを積極的に交通安全のための諸活動にご使用ください。

内閣総理大臣賞 しんごうが あおでもよくみる みぎひだり



# 第31回 無事故・無違反推進月間の実施結果について

平成27年8月1日から9月30日までの2ヶ月間、松江市内の29地区安全協会対抗の無事故・無違反推進月間が、A・B両グループに分かれ実施されました。

その結果、施策優良地区は次のとおりであり、松江市交通安全総決起大会で表彰されました。

Aグループ(人口6,000人以上)



- 第1位** 津田地区交通安全協会  
津田地区交通安全対策協議会
- 第2位** 竹矢地区交通安全協会  
竹矢地区交通安全対策協議会
- 第3位** 大庭地区交通安全協会  
大庭地区交通安全対策協議会
- 努力賞** 法吉地区交通安全協会  
法吉地区交通安全対策協議会
- 努力賞** 玉湯地区交通安全協会  
玉湯地区交通安全対策協議会

## 施策優良地区



Bグループ(人口6,000人未満)

- 第1位** 島根地区交通安全協会  
島根地区交通安全対策協議会
- 第2位** 美保関地区交通安全協会  
美保関地区交通安全対策協議会
- 第3位** 大野地区交通安全協会  
大野地区交通安全対策協議会
- 努力賞** 生馬地区交通安全協会  
生馬地区交通安全対策協議会
- 努力賞** 秋鹿地区交通安全協会  
秋鹿地区交通安全対策協議会

## 交通安全ポスター及び作文コンクールの審査結果について

(一財) 島根県交通安全協会主催による恒例のコンクールに、松江市内の小中学校から、ポスター108点、作文4点という多数の作品の応募がありました。審査の結果は右のとおりでした。(当協会分) たくさんのご応募、ありがとうございました。

今回、金賞を受賞したポスター5点についてご紹介します。

	金賞	銀賞	銅賞	佳作
ポスター	5点	4点	4点	4点
作文		1点	1点	



中学校1年の部  
松江市立穴道中学校  
多根 季彩来さん



中学校2年の部  
松江市立東出雲中学校  
石原 湧大さん



中学校3年の部  
松江市立穴道中学校  
狩野 まりあさん



小学校1年の部  
松江市立出雲郷小学校  
影山 隆宏さん



小学校4年の部  
松江市立損屋小学校  
三島 幸咲さん

## 平成27年の交通事故発生状況

### 県内の交通事故

年別対比	区分	人身事故件数	死者	傷者		
				重傷	軽傷	傷者計
平成27年		1,388	27	63	1,550	1,613
平成26年		1,583	26	63	1,768	1,831
増減数		-195	1	0	-218	-218
増減率		-12.3%	3.8%	0.0%	-12.3%	-11.9%

- ※概要
- 人身事故件数は6年連続で減少しました。
  - 死者27人のうち、65歳以上の高齢者は前年より5人少ない13人で、高齢死者の割合が10年ぶりに50%未満となりました。
  - 死者の行動別では、歩行中が前年より2人増の12人で最多となり、夜間の死者数は5人増の15人でした。

### 松江警察署管内の交通事故

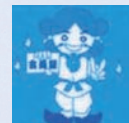
年別対比	区分	人身事故件数	死者	傷者		
				重傷	軽傷	傷者計
平成27年		507	8	18	560	578
平成26年		535	7	17	588	605
増減数		-28	1	1	-28	-27
増減率		-5.2%	14.3%	5.9%	-4.8%	-4.5%

- ※概要
- 交通死亡事故件数は8件(8人)で、そのうち「夜間」「国道」「高齢者被害」の事故がそれぞれ5件(5人)、「道路横断中」の事故が4件(4人)でした。
  - 人身事故507件のうち、「高齢者」関与の事故は178件(35.1%)、「国道」での事故は167件(32.9%)、「夜間」の事故は130件(25.6%)でした。

## 入会のお願いと特典制度

(一社) 松江市交通安全協会では、免許証の取得・更新時に、交通安全協会への入会をお願いしております。ご協力いただいた方の会費は、悲惨な交通事故を一件でも減らすための経費として活用させていただいております。また、加入された会員様の特典もありますので、是非ご利用ください。

- 交通安全協賛店での活用**  
協賛店の加盟店は、現在、県内で約600店、松江市で約250店です。会員証を提示し、ご利用ください。
- 交通傷害見舞金制度**  
会員の方が不幸にして交通事故の被害にあわれ、31日以上入院された場合などに見舞金を支給いたします。
- チャイルドシートの無料貸し出し**  
予約制により、最長6か月間ではありますが、新生児から6歳までの子どもさんに対し、無料で貸し出しをしています。(ただし、返却時にクリーニング代が別途かかります。)台数に限りがありますので、夏休み、年末年始、ゴールデンウィーク期間は早目の予約をお願いします。



協賛店マーク



※ 詳細については、松江市交通安全協会事務局(電話24-8782)まで、お問い合わせください。